

東京都赤十字功労表彰受章者 受章おめでとうございます

- 令和6年度 奉仕団業務功労感謝状 ▶ 羽鳥 三千代 (永福町)  
 奉仕団銀柁支部長感謝状 ▶ 今村 恵子 (文化連盟)  
 奉仕団銀柁支部長感謝状 ▶ 石川 昭子 (上井草)

敬称略、順不同  
 カッコ内は所属分団



令和6年度 活動報告



▲奉仕団総会



▲駅頭キャンペーン



▲PRパネル展示



▲人仁の会

名称	日にちなど
駅頭キャンペーン	5月9日
PRパネル展示	5月9日
奉仕団総会	5月21日
震災チャリティコンサート(人仁の会)	6月10日
奉仕団研修会(視察研修)	10月16日
東京都赤十字大会(明治神宮会館)	10月23日
すぎなみフェスタ(献血奉仕)	11月9日
東京都支部委員会(専門委員会)	11月
災害時非常用携帯トイレ 備蓄事業説明会	11月19日
青少年赤十字指導者研修視察 (桃井第五小)	11月21日
赤十字防災セミナー(座学研修)	12月5日
杉並第二小学校との清掃奉仕活動	12月11日
東京都赤十字主催「こころのケア研修」	R7年1月7日
JRC(青少年赤十字)連絡協議会	R7年2月4日
ボランティアフェスティバル	R7年3月1日
献血奉仕	5月・11月・令和7年3月(予定)
手芸奉仕	毎月第3木曜日 計10回(予定含む)
奉仕団委員会	4月・6月・9月・12月・2月(予定)
奉仕団だより編集委員会	6月~12月(計8回)



▲献血奉仕



▲手芸奉仕



▲奉仕団研修会(座学)



▲杉並小との清掃活動



▲奉仕団研修会(視察)



▲すぎなみフェスタ(杉並区長と)

編集後記

●常に学び続ける事への大切さとともに、体験を通して学んだことを重点に置き編集いたしました(石田) ●いざという時に自分の知識が活かせるように、学び続けることが大切だと改めて思っています(関) ●災害について、何処で遭遇するか分からない。心積もりだけでもと(坂爪) ●自然災害の多発する昨今、心しておくべきことを学びました(長澤) ●思わぬ病や災害時に老若男女がそれぞれに発揮出来る力と沈着を学んだ内容かと(山本) ●講習を受け、非常持ち出し袋の中身は、年代や状況によって必要なものが変わることが学びました(滝沢) ●日赤の研修を通して、防災の知識や技術を学ばせていただき、少しでも役立てられれば幸いです(谷口)

編集委員

- 編集委員長：石田悦実  
 編集委員：関明子・坂爪輝子・  
 長澤百合子・山本すみえ・  
 滝沢桂子・谷口悦子

発行責任者：矢崎芳子



杉並区赤十字

奉仕団だより

(赤十字国際標語)

人間を救うのは、人間だ

赤十字七原則

道平立立仕一性  
 人公中独奉単世 界 界 性

「赤十字奉仕団員の信条」

- 一、すべての人々のしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

「これから」

杉並区赤十字奉仕団 委員長 矢崎 芳子



奉仕団員の皆様、新春をご健勝にお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より活動へのご理解とご支援をいただき深く感謝いたします。昨年の能登半島地震では石川県を中心に多くの人々が被災し、日常を奪われてしまいました。奉仕団として義援金を微力ながら募集できたこと、快くご協力いただいた団員の皆様に改めて御礼申し上げます。活動においてはコロナ禍で休止していた各部会長会議も復活し、以前にもまして楽しい取り組みが期待できそうです。部会長の皆様、頑張ってください。残っていた事、やりたい事を具体的に研修・講演・座学へと取り組んでまいります。献血への手伝いも年間の活動に加えて2か所も会場が増えました。少しずつではありますが献血者も増えているという話も聞いております。繰り返される災害への、次なる対策として機材・方法対処がずいぶん進化しております。私たち奉仕団員も常に講習会・技術指導等に参加し、その時代に即した機材の扱い方、環境の変化に対応し、学び続けたいと思っております。今号の奉仕団だよりではそんな私たちのさまざまな「学び(MANABI)」をお伝えします。年齢を重ねた私たちにまだまだできる事があるはず。折に触れ、集い、ワイワイと楽しく奉仕団活動を続けていきましょう。



くつろいでいるように見えますが、実はVRで大災害を体験中。立川防災館には「MANABI」がいっぱい!

詳しくは2~3面をご覧ください!



杉並区赤十字奉仕団へのお誘い

～あなたも一緒に活動してみませんか?～

私たちは、献血奉仕・防災食講習・裁縫奉仕など地域で活動しています。一人ひとりの小さな行動が大きな力につながります。できることをできるときに、あなたも参加してみませんか?

問合せ先：杉並区赤十字奉仕団事務局



第42号 令和7年1月発行(年1回発行) 発行：杉並区赤十字奉仕団

事務局：杉並区保健福祉部管理課地域福祉係 〒166-8570 杉並区阿佐南1-15-1 ☎03-3312-2111(代)

さあ、学びましょう!

# 私たちは、今も MANABI 続けています!

## 立川献血ルームで MANABU

献血者を増やすための工夫を見たいと訪れたのは立川献血ルーム。2024年5月17日に駅北口から移転して来たばかりの新しい施設です。駅南口からほどちかい商業施設の中であり、平日は平均100人、休日は150人の方々が訪れ、この数は増加傾向にあるそうです。また、減少傾向にある若者の献血を増やすため、学生献血デーを設けるなど、さまざまなイベントを実施しているそうです。

若者も入りやすいお洒落な雰囲気!



杉並にも常設の献血ルームがあればいいのね!

駅近で気軽に立ち寄れる!

明るくて広い、清潔な施設ね!



スタッフの対応が好感持てます!



内部は16ベッドの成分献血エリア、4ベッドの全血エリアがあります。休憩スペースは地元の多摩材木が使われており、献血に訪れた方々がゆっくりとくつろげるような、落ち着いた温もりのある雰囲気になっています。



皆で協力し、毛布を使った担架づくりを体験!

毛布を使って担架ができたのね!

ハザードマップで自宅の危険度や避難所の開設順序などがわかりました!



講師の篠崎さんと近藤さん



また、三角巾を使った応急手当と、身近な物を使った応急手当も併せて学びなおし、日頃から災害に備えることを学びました。

## 防災セミナーで MANABU

河川の多い杉並区。いざという時のために日本赤十字社東京都支部の講師を招き、水害ハザードマップを参照しながら「災害への備え【大雨編】」を学びました。

災害時の対応、近隣との連携の大切さを知った。でもお付き合いのない場合は...



時間の許す限り研修に参加し学んだことを実践できるようにしたい!

三角巾等の実習を重ね、災害時にあわてず対応できるようにしたい!



### いざというときに備えて日常携帯すべきもの(例)

- 現金(小銭) スマホ(充電器も) 衛生用品(ウェットティッシュ・携帯トイレ1回分 etc.)
- ホイッスル 常備薬 マスク等 救急ばんそうこう 水 チョコ あめ など...

小さなバッグ(ポーチ)に詰めて持ち歩くことで役に立ちます!



## 防災館(立川)で MANABU

災害大国日本でいつ起こるか分からない地震や災害などの本当の姿を知り、いざという時に身を守るための行動や方法を体験学習することのできる施設です。今回は、地震・煙・救出・VR防災の4種類の体験をしました。



震度6強を体験▶



いつになったらこの揺れおさまるのよ...!

煙を避けて、逃げださなくちゃ!



救出体験▶

西山さん! 今助けに行くから頑張って!



◀火災の体験

### 参加者の声

- あつという間の充実した2時間でした!
- 実際の災害の時、自分の身を守るのだから...
- VRが迫力あってびっくりするやらこわいやら!
- 外出時には笛とか非常用品を持たなくちゃ!